

# 全世代・全員活躍型「生涯活躍のまち」取組事例：福島県 伊達市

## ◆コンセプト：「地域が家族になるまちづくり」

健康な時から、仕事や社会参加を通じて自己実現と地域の活性化が両立できる生活を提供し、地域が家族としての役割をもって活躍できるまち。その拠点として、伊達市高子駅北地区において、「年齢や職業、障がいの有無や性差に関係なく誰もが住みたくなるまちで、自分らしく暮らせるまちづくり」を目指す。

### <特徴>

- 子どもから高齢者、障がいのある方などの全員が活躍する拠点
- 「農業」×「福祉」×「健幸」を基軸とする多世代交流プログラム
- 健幸都市をテーマに遊歩道等を整備し、伊達市発祥の地の史跡を活かした「自然と歩きたくなるまちづくり」を実現

## CCAC構想

Continuing Care Retirement Community

Continuing Care Active Community



～U-ブレイス伊達～

他エリア等との連携を図り、多世代交流や活動を育む  
CCAC交流施設

～Nextブレイス～

田舎暮らしを希望する都市住民等に伊達市ならではの体験とゆとりある暮らしを提案する  
CCACお試し居住施設



## ◆誰もが居場所と役割のあるコミュニティづくり

### 「交流拠点」

#### 【主な取組内容・進捗状況】

- 福祉施設と子ども園等と連携しながら伊達市全域の核となる施設
- 子どもから高齢者、障がいのある方などの交流を促す拠点施設
- テレワーク、移住相談、コミュニティ食堂等の機能設置



### 「福祉」

#### 【主な取組内容・進捗状況】

- 共生型支援施設：相乗効果が期待できるよう、子ども、障がい者、高齢者を混成し複合的に支援
- 就労支援：顕在化する引きこもり者に対して就労体験を提供し、積極的な社会参加を支援
- 交流施設と連携した農福連携プログラムの提供

### 「健康」

#### 【主な取組内容・進捗状況】

- 区画全体に遊歩道や公園、伊達氏史跡等を設けた「歩きたくなるまちづくり」をコンセプトとした設計
- 区画を横断するかたちで公園緑地を配置した歩行者ネットワークを整備し歩いて楽しくなる空間の提供
- 公園緑地内には健康器具を設置、身近な空間での市民の健康を増進

### 「お試し居住施設」

#### 【主な取組内容・進捗状況】

- お試し居住施設を活用した農業体験・田舎体験による地域住民との交流
- 就業体験を取り入れた関係人口と移住促進
- CCAC施設を拠点に、シェアカーやシェアサイクルを活用した市内周遊による魅力の再発見

### コミュニティへの人の流れ

- 移住定住コンシェルジュが架け橋となり、希望にあった移住のコーディネートや移住後のフォローまでワンストップでサポート
- 地域交流や各種団体との連携による地域コミュニティの醸成

### その他特徴的な取組

- 「妊娠期から切れ目のない支援 そして親子が笑顔になれる架け橋」をコンセプトにした「伊達市版ネウボラ」
- 県外からの移住で保育・福祉の資格職で勤務する人への支援
- 県内外の学生によるマルシェ開催

## 基礎データ

- ・人口：56,404人（R6.3月末時点）
- ・H29.3 伊達市版生涯活躍のまち構想策定
- ・R4.9 伊達市高子駅北地区CCAC構想策定
- ・R4.9～ CCAC事業にかかる公募
- ・R5.2 市とCCAC事業者との間で事業協定締結
- ・デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生拠点整備タイプ）